



S.Setoguchi

THE MBS SHO SWAN STAKES

第68回 MBS賞 スワンステークス (GII)

	1着	2着	3着	4着	5着
本賞	59,000,000円	24,000,000円	15,000,000円	8,900,000円	5,900,000円
付加賞	1,274,000円	364,000円	182,000円		



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、除3歳未出走馬および未勝利馬

負担重量 3歳55kg、4歳以上57kg、牝馬2kg減、2024.10.5以降GI競走(牝馬限定競走を除く)1着馬2kg増、
牝馬限定GI競走またはGII競走(牝馬限定競走を除く)1着馬1kg増、2024.10.4以前のGI競走(牝馬限定
競走を除く)1着馬1kg増(ただし2歳時の成績を除く)

2025.10.13 京都 晴・良 芝1400m (国際) (指定)

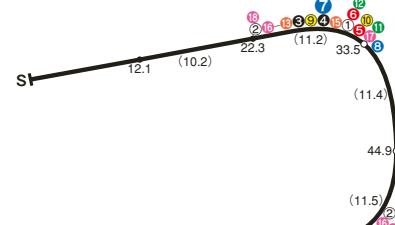
種馬	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	オッズ	調教師	レーティング
					(着差)	通過順位	(600m)	(増減)				
1 ⑦	オフトレイル	牡4	57	菅原明良	R1:18.9	11-11	33.2	462(-2)	7.5⑤	吉村圭司(栗東)	114	
2 ④	ワイルドトゥール	牝4	55	北村友一	クビ	11-11	33.3	428(+8)	43.7⑩	藤原英昭(栗東)	109	
3 ①	ランスオブカオス	牡3	55	吉村誠之助	%	6-6	33.6	492(-2)	7.0④	奥村 豊(栗東)	112	
4 ⑤	ウインマーベル	牡6	57	松山弘平	ハナ	4-4	33.8	482(-2)	5.9③	深山雅史(美浦)	111	
5 ⑨	ショターラヴィント	牡5	57	小崎綾也	%	13-13	33.2	446(±0)	64.9⑩	矢作芳人(栗東)	108	
6 ⑯	アドマイヤズーム	牡3	55	坂井瑠璃	クビ	6-6	33.7	474(-4)	4.7②	友道康夫(栗東)	107	
7 ⑬	ダンツエラン	牝3	53	松若風馬	クビ	15-13	33.2	492(+2)	201.6①	本田 優(栗東)	106	
8 ⑧	ワールズエンンド	牡4	57	戸崎圭太	アツマ	1-1	34.3	470(+2)	4.4①	池添 学(栗東)	105	
9 ⑯	レッドモンリーヴ	牡6	57	酒井 学	クビ	17-16	33.0	512(-12)	78.1⑨	蛭名正義(美浦)	104	
10 ⑫	ロジリオン	牡4	57	古川吉洋	%	6-8	33.9	504(+8)	18.8⑦	古賀慎明(美浦)	103	
10 ⑯	ショウナンサンダウ	牝3	53	池添謙一	同着	10-10	33.8	450(-2)	26.8⑩	松下武士(栗東)	102	
12 ②	タイムトゥヘヴン	牡7	57	柴田善臣	1	17-18	33.1	482(-2)	86.9⑩	戸田博文(美浦)	101	
13 ⑯	グレイニンググリーン	牡7	57	高杉吏麿	ハナ	16-16	33.3	504(+6)	48.5⑨	池江泰寿(栗東)	100	
14 ③	ムイ	牝3	53	岩田望来	1½	14-13	33.9	478(+14)	21.9⑨	笛田和秀(栗東)	99	
15 ⑩	アルテヴェローチェ	牡3	55	佐々木大輔	クビ	4-4	34.5	462(+6)	16.8⑥	須貝尚介(栗東)	98	
16 ⑪	パリサムノート	牡5	57	小沢大仁	2	2-3	35.0	516(+6)	281.3⑩	高野友和(栗東)	97	
17 ⑰	アサカラキング	牡5	57	岩田康誠	クビ	2-2	35.2	526(-4)	19.1⑧	齋藤 誠(美浦)	96	
18 ⑥	ソーダリング	牝5	55	菱田裕二	4	6-8	35.4	466(-4)	29.7⑩	新谷功一(栗東)	95	

単勝⑦750円(5%)* 複勝⑦230円(5%)* ④1,010円(13%)* ①230円(4%)* 枠連②-④2,490円(12%)*

馬連①-⑦14,780円(46%)* ワイド④-⑦3,660円(45%)* ①-⑦870円(8%)* ①-④5,320円(58%)*

馬単⑦-④22,150円(79%)* 3連複①-④-⑦30,920円(100%)* 3連単⑦-④-①168,690円(540%)*

5重複⑨①②⑥⑦3,650,860円(149票) 対象競走: 京都9R/東京10R/京都10R/東京11R/京都11R



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m 通過タイム : 33.5 - 44.9 - 56.4 上り : 45.4 - 34.0

アラカルト

- 菅原明良騎手はスワンS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算13勝目
- 吉村圭司調教師はスワンS初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算12勝目
- Farhh産駒はJRA重賞通算2勝目
- 勝ちタイム1:18.9はレースレコードかつコースレコード
- ロジリオンの田野大成騎手は第6競走での入線後の落馬負傷のため古川吉洋騎手に変更
- 非当選馬 1頭(スカイロケット)
- 非抽選馬 1頭(セッション)
- オフトレイルはマイルチャンピオンシップ(GI)に優先出走できる

外オフトレイルGB Off Trail

牡 鹿毛 2021.5.14生
イギリス Godolphin生産
馬主・ゴドルフィン 栗東・吉村圭司厩舎
馬名意味・道のないところを行く

ローズトレイルUSA系 F2-c			
Farhh 鹿毛 2008	Pivotal 栗毛 1993	Polar Falcon	
		Fearless Revival	
	Gonbarda 鹿毛 2002	Lando	
Rose Trail 鹿毛 2007		Gonfalon	
	Kingmambo 鹿毛 1990	Mr.Prospector	
		Miesque	
	Mannington 鹿毛 1997	Danehill	
		Bint Marscay	

5代までのインブリード: Nureyev S 4×M 4 Northern Dancer S 5×M 5×M 5

INTERVIEW

ハリー・スウェニニイ 代表取締役
(ダーレー・ジャパン株式会社)

ますます強くなっていくと思います

近走、素晴らしいパフォーマンスを披露していましたので、スワンS制覇、さらにコースレコードを樹立してくれたことを大変嬉しく思います。誕生まれでデビュー時はわずか430kgでしたが、その後は目を見張るような成長を遂げ現在では460kgを超える馬体重で出走しています。今後ますます強くなっていますので、G Iの舞台での活躍を楽しみにしています。



昨年のラジオNICKIE賞で重賞初制覇を果たした後は、2着2回(スワンS、関屋記念)、3着1回(阪神C)と惜敗を重ねた本馬だが、この日はハイペースの展開も追い風に末脚が爆発。レースレコードで制したラジオNICKIE賞に続き、コースレコードを塗り替えて重賞2勝目を挙げた。誕生まれ(5月14日)の英國産馬がいいよ本格化マード。上昇気流に乗って挑むマイルチャンピオンシップが楽しみだ。

父ファー Farhh

イギリス産 英、仏10戦5勝(チャンピオンS・英G1、ロッキンジS・英G1、インターナショナルS・英G12着、エクリプスS・英G12着、サセックスS・英G12着、ムーランドロンシャン賞・仏G12着)、14年から英で供用
〔代表産駒〕トライバリスト Tribalist(ムーランドロンシャン賞・仏G1、ミュゲ賞・仏G23回、エドモンブラン賞・仏G32回、ベルトランデュブルイ賞・仏G3)、キングオブチャレンジ King of Change(クイーンエリザベスII世S・英G1、英2000ギニーG12着)、ファンテーン Fonteyn(サンチャリオットS・英G1)、オフトレイルGB(本馬)、ムーヴスイフトリー Move Swiftly(デューカオブアンブリッジS・英G2)、ノクターナルフォックス Nocturnal Fox(オカール賞・仏G2)、ティファニー Tiffany(Tフォンツアストロフ牝馬賞・独G2)、ディーアイクスピーデ Ex Bee(サガロS・英G3)、他に重賞勝ち馬多数

母ローズトレイルUSA

不出走。14年輸入、15年輸出(英)

ローゼンタル Rosental(12 牝父Pivotal)仏、英、愛16戦4勝(ダリア賞・仏2回、フィュドレール賞・仏G33着、アップエイヴォンS・英L3着)

ローザインペリアル Rosa Imperial(13 牝父Pivotal)仏、首9戦4勝(リゾランジ賞・仏G3、ラカロンヌ賞・仏L、ハンプトン賞・仏L、ロードシルト賞・仏G13着)

リボンズンロージズ Ribbons 'n' Roses(14 牝父Cape Cross)愛4戦0勝 リーディングエッジ(15 雄父New Approach)持込 中央9戦1勝 イヴニングブルーム Evening Bloom(16 牝父アドマイヤムーン)不出走 アーザムローズ Asam Rose(18 牝父Golden Horn)不出走

(20 牝父Farhh)

オフトレイルGB 本馬(21 牝父Farhh)中央15戦4勝(スワンS G2、ラジオNIKKEI賞G3、こぶし賞、スワンS G22着、関屋記念G32着、白百合S・L2着、阪神C G33着)獲得総賞金186,458,000円

(23 牝父Oasis Dream)

※17(流産)、19、22(報告なし)

祖母マニントン Mannington

オーストラリア産 豪3勝(ブルーダイヤモンドプレリュードフィリーズG3、タリンダートS・L、スキラッチS G22着、ニューマーケットH G13着、ブルーダイヤモンドS G13着)、ベニシオ Benicio(ヴィクトリアダービー・豪G1)、ロムネヤ Romneya(ムニーヴァーフィリーズクラシックオースク・豪G2)、ロヘリン Roheryn(ショーカウンティクオリティ・豪G3)の母

コースレコードを塗り替え重賞2勝目

今年から日程が2週間繰り上げられたマイルチャンピオンシップの関西の前哨戦・スワンSには、実力の比較が難しい多彩な顔触れが集結。ファンの評価も割れたなか、3勝クラスを勝ち上がったばかりの4歳馬ワールズエンボグが1番人気に推され、昨年の2歳マイル王アドマイヤズーム、芝1400mの重賞を3勝している6歳の実力馬ワインマーベルがこれに続く勢力図が描かれた。そんな混戦ムードに断を下したのは5番人気のオフトレイル。身上の末脚を冴え渡らせた4歳馬が1年の有力候補に浮上した。

出足に優ったワールズエンボグと、外枠から手綱を押して飛び出したアサカラキングが繰り広げた主導権争いは前者に軍配。ワインマーベルは火花を散らす2頭から3馬身ほど離れた好位のインにつけ、アドマイヤズームが背後6番手を進む。一方のオフトレイルはスタートで立ち遅れたものの、すぐに行き脚がついてビハインドを挽回。菅原明良騎手は中団馬群の後方で脚を溜め、仕掛けのタイミングを窺った。2番手に控えたアサカラキングが再び前に並びかけ、幕を開けた直線の攻防は形勢が二転三転。残り200m地点では2頭の内を突いたワインマーベルと、間を割ったランスオブカオスが抜け出しをはかったが、好位で運んだ両馬はあとひと押しを欠いて脚色が鈍る。そこへオフトレイルとワイドトラウルが強襲。馬場の真ん中を力強く伸びたオフトレイルが、馬群を捌いて追い込んだワイドトラウルをクビ差に従えて勝利を手にした。